

機械学習でAML を変容する

プログラムの最適化

— 過去20年間、アンチマネーロンダリングの領域は信じられないほど手動だった。

— 金融サービス機関(FSO)はアナリスト軍団を雇っているが、未だに山ほどの警告に追いつくことはできていない。



銀行の1行に5行は、
規制当局による執行措置を受けた経験がある。¹

機械学習を取り入れよう

— AMLにおいて機械学習を使用すると、マイクロレベルで新しい集団を検出して作成することが可能になる。

最新調査では、回答者の**33%**
はデータの質を技術的問題に挙げている。¹

— 疑わしい取引の監視の未来が意味するものは、単なる地理的または業界の専門よりも深く潜入り、平均購入価格や年間支出にまで立ち入ることである。



自動化の進行



チューニング



異常検出



予測

集団強化後の次の目標は、閾値管理である。母集団グループの最適閾値を決定するために、数百回のシミュレーションを実行できる。

セグメンテーションと閾値の改善により、どんなに小さな異常も検出することが可能に。

予測分析により、金融機関は、アラートを端とする取引報告(SAR)の可能性を発見でき、不必要な検査と出願期間が削減される。

800 億ドル — 2 兆ドル

マネーロンダリングの年間規模の推測値。



機械学習により、金融機関(FI)は調査チームの効率を大幅に改善させる。



手動だったタスクを自動化することで、各アナリストが1つのアラートに費やす時間を70%削減可能

始める準備はできていますか？

詳細情報 >

Actimizeの疑わしい行動監視(SAM)のソリューションについて。

連絡先 >

デモの予約はこちら。

¹ 世界経済犯罪調査2016(報告書)。(日付なし)。PwCのウェブサイトから、2018年2月21日に取得。
www.pwc.com/gx/en/services/advisory/forensics/economic-crime-survey/anti-money-laundering.html

² マネーロンダリングとグローバリゼーション(2017年) 2018年2月21日に取得。
www.unodc.org/unodc/en/money-laundering/globalization.html